

シークエンシャル咬合再考

スラビチェック教授が遺したものとこれからの展望

1970-90年に起こったナソロジーの大転換(パラダイムシフト)は、歯科咬合学の概念を大きく変えることになりました。1980年代 Slavicek R. は咀嚼器官に関する新たな概念を提案し、また新たな診断システムを構築しました。それは新しいナソロジー時代の始まりだったと思います。あれから約40年、彼の考えは着実に日本の歯科臨床に浸透してきました。本年(2022年)、残念ながら Slavicek R. は先に逝ってしまいました。今後われわれの役割はますます重くなっていくものと感じております。

神奈川歯科大学特任教授
ICOM-Japan会長

佐藤貞雄



開催
形式

Zoom配信

参加
費用

歯科医師

22,000円(税込)

歯科技工士/歯科衛生士他

11,000円(税込)

9.23 Fri.

秋分
の日

START10:00~ (17:00終了予定)

お申し込みは
こちらから



PROGRAM

- 10:00~12:00 基調講演 佐藤貞雄先生
オーストリアンナソロジーの誕生からCraniomandibular Orthodonticsへの発展と今後の展望
- 12:00~13:00 昼休み
- 13:00~14:00 榊原功二先生 スラビチェック教授との出会いから日本での普及・教育活動を通して
- 14:00~14:15 休憩
- 14:15~15:15 普光江洋先生 武井順治先生 日本の診療にシークエンシャル臨床を導入する取り組み
- 15:15~15:30 休憩
- 15:30~17:00 座談会 ~シークエンシャル咬合 今日までそして明日から~

主催：ICOM-Japan(国際咬合医学研究会日本支部)

後援：白水貿易株式会社 株式会社JMオーソ 株式会社オール・デンタル・ジャパン 株式会社エスアンドエス

お問い合わせ先

F A X : 03-6300-6393

E-MAIL : gps190501@gmail.com

